

▶今年度からスタートした市民ドック



▶平成17年度に締結した明石市との交流協定（握手する両市長）



事業化・企業化の中で生かしていきたいと考えています。また、有機農法など経済活動に結びつくことも実施していきます。

Q. 国民健康保険税が高くなって困っています。

A. 県下の他市町と比較しても決して高いものではないと思っています。高い自治体は1人当たり10万円、養父市は6万6千円です。もちろん、大きな負担となっている方もおられると思います。皆さんのご理解をいただきながら推進していきたいと思っています。

Q. 都市との交流を促進する取り組みを実施してほしい。

A. 高規格道路の活用と情報の発信などにより地域づくりに努めます。グリーンツーリズムなどに積極的に取り組み、地域の活性化に生かしていきます。

Q. 明石市との交流事業の概要を教えてください。

A. 明石市との交流は合併1周年に交流協定を締結してスタートしました。小学校を中心とした交流を行っており、夏には、養父市から明石海峡のクルージングなどに出かけています。秋と冬には、明石市から稲の収穫体験やスキーなどに訪れ、交流を深めています。

Q. スーパーマーケットの撤退などですます生活が不便になりました。

A. 行政だけでは解決できない問題も多くありますが、前向きに努力していきます。スーパーマーケットがなくなったのは思いがけないことでしたが、他地域では住民による店舗の自主運営も行っており、何らかの方法を模索しています。

Q. 企業誘致や若者定住など問題はたくさんありますが、行政の重点項目は何ですか。

A. 財政力を高める以外にも、教育問題、福祉問題とさまざまですが、お金が無ければサービスもできません。当面は、財政力を高めることが最重要課題です。

Q. 南但スポーツセンターの管理が十分ではないと思います。

A. 南但広域行政事務組合で管理していますが、管理体制などを確認します。

Q. 熊次地区は消防署が遠く不安です。近くに分署ができませんか。

A. 今のところ財政が厳しいのでできませんが、命にかかわる問題ですので、今後も検討していきます。

Q. 「ピバホールチェロコンクール」や「木彫フォークアートおおや」などは、他にはない活力あるイベントだと思えます。今後、市の行事と

して継続してください。

A. どちらのイベントも素晴らしい歴史を持っており、実行委員会などを中心に少ない経費で実施していたでています。今後も、継続して実施していきます。

Q. 財政状況が悪いのは仕方がありませんが、その中でも市民サービスが低下しないようにしてほしい。

A. 財政については、国の施策である三位一体改革によって、合併時から大きく状況が変わり、非常に苦しくなっています。この難局を職員が一丸となって乗り越え、行政サービスが低下しないように努めていきます。

Q. 人口が減少していく中で、活力あるまちづくりのために実施している事業は何ですか。

A. 活力あるまちづくりのために、農業や林業、商工業の振興や企業誘致に取り組み、若者が帰ってこれるようなふるさとづくりを行っています。現在は、雇用の創出が期待できる企業誘致に重点を置いています。

▼タウンミーティングに関するお問い合わせ
 養父市政策監理部企画政策課
 (☎662-7602)